

バイオマス取組事例概要

(社団法人日本有機資源協会会長賞)

東北

- ・ 応募主体 あだたら環境農業研究会
- ・ 都道府県・市町村 福島県二本松市
- ・ 取組分野 堆肥化

取組概要

旅館の食品残渣と家畜排泄物から堆肥を製造。食品リサイクル活動の普及、広報。

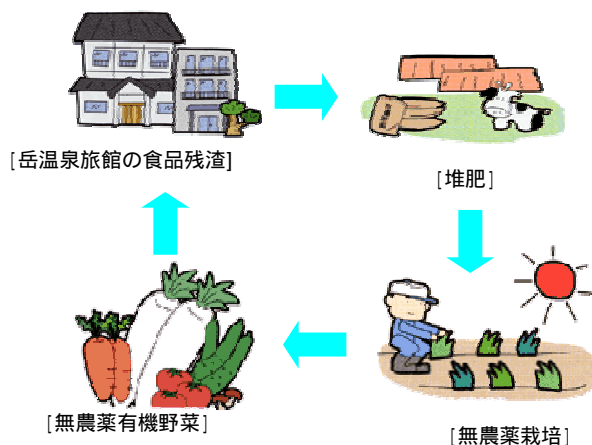
平成14年4月に、JAみちのく安達二本松有機農業研究会、岳温泉旅館協同組合、國分農場有限会社等により「あだたら環境農業研究会」を設立し、食品廃棄物や畜産廃棄物の適正な処理と環境保全型農業等を連携して取り組んでいる。

岳温泉の15件の旅館から排出される食品残渣(150t/年)を國分農場で畜排泄物(3,600t/年)と混合し、堆肥を製造(1,460t/年)している。岳温泉の旅館組合が堆肥を買い取り、契約農家に提供し、栽培した無農薬野菜を岳温泉の旅館で食材として提供している。

有機農家が栽培した無農薬野菜は、2001年5月に有機認証を取得しており、「有機野菜の朝市」や岳温泉旅館の食材として提供される。

堆肥は「きらら有機リサイクル」として販売するとともに、地域の小中学校へ無料配布している。

環境リサイクルの流れ



契約農家の栽培状況



生産された
有機野菜



取り組みのイメージキャラクター
「リサイクル」